

## 入院中の脳卒中発症に関するデータベース研究

### 研究協力をお願い

当科では「入院中の脳卒中発症に関するデータベース研究」という研究を中央倫理委員会の承認および研究機関の長（院長：汲田伸一郎）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### 1. 研究の対象

2014 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院に入院された 18 歳以上の患者さん

### 2. 研究の目的

入院中の患者さんが脳梗塞を発症する割合は 2.2-4.4%と言われており、入院中の脳卒中発症は院外での発症と比べ、発見や治療が遅く、将来的な日常生活に障害が残る可能性が高いと言われていています。こういった背景の患者さんが入院中に脳卒中を発症するかは、通常の入院患者と比較した検討がなく、未だわかっていません。そのため、私たちは入院中に脳卒中を発症する患者さんの特徴を明らかにすることを目的といたします。

### 3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院脳神経内科を研究代表機関とする多機関共同研究で、研究代表者は日本医科大学付属病院脳神経内科 木村和美、研究事務局は日本医科大学付属病院脳神経内科 畠星羅です。他の参加研究機関は日本医科大学医療管理学（研究責任者：松山琴音）です。

2014 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院に入院された 18 歳以上の患者さんで、脳卒中を発症した際の患者さんのデータとそうでない患者さんの入院中のデータを比較し、どのような状態の患者さんが院内発症を起こしやすいのか評価を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2027 年 3 月 31 日までです。

本研究は、外部機関との利益相反はありません。

### 4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

試料・血液：なし

情報：年齢、性別、既往歴、血液データ、画像データなど

情報の提供を行う機関：日本医科大学付属病院（院長：汲田伸一郎）

試料・情報の提供を受ける機関：日本医科大学（学長：弦間昭彦）

情報の取得の方法：電子カルテシステムから通常の診療の過程で得られた情報を取得

この研究に関する情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、日本医科大学付属病院の畠星羅が大学のインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータ

に保管し、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄します。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

## 5. 問い合わせ先窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 脳神経内科 畠星羅

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号 : 03-3822-2131 (代表) 内線 : 27604

メールアドレス : [seira042@nms.ac.jp](mailto:seira042@nms.ac.jp)